



東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

男女共同参画室

SANKAKU Letter No.11

2014年3月15日(土) 芝浦工業大学男女共同参画推進シンポジウム

芝浦工業大学豊洲キャンパスにて「男女共同参画推進シンポジウム」が開催されました。

シンポジウムでは、教職員や女子学生から見た芝浦工業大学の全学意識調査報告や、芝浦工業大学における男女共同参画の現状と課題および今後の取組についての各学部長・大学院研究科長によるパネル討論が行われました。



また、「女性研究者の飛躍に向けて」と題し、芝浦工業大学の村上雅人学長と本学の北澤宏一学長による対談が行われました。対談の中で、北澤学長は「男女共同参画は、憲法第14条で定められている権利なのです。ニーズがあるからやるのではなく、男女のどちらも、自分の人生の目標に向かう権利があります。日本で男女共同参画を進めるためには、男性がもっと憲法第14条を意識しなくてはいけないと思います。このままでは、日本は世界中から取り残されてしまう。大学でどうしたらこの成果があがるか、じっくりと考えていきたい。」と男女共同参画推進についての考え方を述べられました。



本学では、2009年より3年間、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に「工学系イノベーションの男女共同参画モデル」をテーマとして、事業を進めてきました。

芝浦工業大学は、2013年に採択され、大学のさらなる発展に不可欠なダイバーシティ(多様性)拡大の一環として、男女共同参画の推進を図っています。村上学長からは、「今後は、他大学の良い例を参考に、見本にしていくことが重要だと考えています。今後も連携していきましょう。」と、男女共同参画の取組について共に推進していくことを約束しました。



◆2/26 井上泰日子先生 Social ゼミ開催

知識工学部経営システム工学科の井上泰日子先生を講師にお迎えし、Social ゼミを開催いたしました。本企画は、講義やディスカッションを通し、「男女共同参画」「ダイバーシティ」というテーマがこれからの社会を考える上で、大切であるということを理解してもらうことを目的としています。

講師の井上先生は、日本航空人事部研究開発部長も務められ、54か国以上もの国を訪問されるなど海外での経験も豊富です。海外での駐在経験などを通して、『ダイバーシティ・男女共同参画の未来』をテーマに、ダイバーシティという言葉の意味、男女共同参画の現状や社会背景、マーケティングの観点から解説がありました。

後半は、「クォーター制についてどう思う?」「夫は外で働き、妻は家庭を守るに賛成?反対?」という2つのテーマを設け、ディスカッションを行いました。どちらのテーマでも、賛成意見・反対意見共に多数の意見が出ました。まとめとして学生たちからは、男女共同参画というテーマは、様々な立場の人が、様々な観点から考え、議論する必要があるとの意見が多く出ました。最後に、井上先生からダイバーシティの視点を身につけるためにも、「外国に積極的に出かけよう!」「多様な価値観を理解しよう!」と学生に向けて応援メッセージが送られました。

第1回・第2回と講師を務めてくださった井上先生が、残念ながらこの3月いっぱいまで退職されましたが、2回のゼミを通して学生達は男女共同参画について、多くを学んでくれました。



◆3/7 小川順子先生 最終講義

男女共同参画室の前身である、女性研究者支援室室長を務められた小川順子先生の最終講義が行われました。最終講義は「男女共同参画と原子力」というテーマで小川先生の豊富なご経験を踏まえてお話をいただきました。世界的にみると日本はまだ男女共同参画に遅れを取っているのが現状です。小川先生がこれまでに積み上げたものを基礎に、更に発展できるよう男女共同参画室は一層努力していこうと思います。

男女共同参画室のリーフレットが完成しました



男女共同参画室にて配布しております。



平成 25 年度 キッズベースキャンプ科学実験教室が終了！

26 年度活動は 6 月よりスタート！



昨年度から始めた科学実験教室の 1 年の活動が終了しました！

科学実験教室は昨年 4 月から始まり、今年 3 月までに 19 店舗の学童保育で科学実験教室を行ってきました。

「男子も女子も、科学が大好きな子ども達を増やしたい」という想いから、科学実験教室を通して、子供達の科学技術・理科に対する関心を高め、学習意欲の向上、創造性や知的好奇心・探究心の育成を目指しています。

この活動では、募集で集まった 19 名の学生達が準備から教室の実施まで、スタッフとして主体的に取り組んでいます。こうした活動が、学生と社会をつなぐ接点となり、学生自身の成長の場となると考えています。平成 26 年度の活動も 6 月よりスタートする予定です。



【岡田室長より】男女共同参画室として、単発ではなく、同じ実験を 19 か所で行い、さらに学内の学年・学部・学科を越えて、学生を集めて実施したことの意味は大きいと思います。話し方、相手側との現場でのやり取りなど、学生はこの活動をスタートした段階から大きく成長しています。

実験準備・計画→実施→感想・反省→改善を 19 回繰り返す活動が、効果を発揮したのだと考えています。部活動やサークル活動とも異なる、人に教える行為により、自らを見つめなおす機会が生まれているようです。

参加した学生の感想

◆実験を繰り返す中で最初の頃と比べて「緊張」がなくなり、進め方などが分かってきてスムーズに進めることが出来ました。大学生活でも「人前で緊張する」といったことも少なくなってきていて、この KBC の科学体験教室の活動が非常に役立ってきていると実感しています。

◆小学生に物事を伝える事はなかなか貴重な体験なので、自分のパワーアップにつながると思います。これからも自分達で考え、来年度の活動をより良いものにしていきたいです。

◆子供達と何度か触れ合い、「自分は子供と同じような感性で日常を過ごしている」という事に気付かされました。これから社会に出て生きていく上で、子供と同じ感性というのはマイナスになるかもしれない事ですが、逆にその感性を強みに物事にあたる事ができたら、よりよいのでは？という考えも生まれました。



KBC の活動以外でも学生が活躍！！

- ・2013/11/30 世田谷教育委員会主催の科学体験教室
 - ・2013/12/21 東急キッズプログラムの科学体験教室
- 上記 2 つの科学体験教室では「光ファイバーを使ってプラネタリウムを作ってみよう！」を行いました。

- ・2014/2/25 南菅小学校で、3～6 年生を対象に科学体験教室を実施しました。

3・4 年生は光の実験、5 年生は音の実験、6 年生は、横浜キャンパス社会メディア学科小池先生の協力で、ソーシャルロボット・マグボットの体験を行いました。

2014/3/19 卒業式

これから社会で活躍する卒業生に向けて、卒業を機に、自分自身の働き方、社会の中での自分のあり方、ライフプランなどを改めて考えてみてほしい。というメッセージを込めてチラシを配布しました。



2014/4/2 入学式

都市大に入学する学生に、男女共同参画室や、参画室で行われている活動を知ってもらい、男女共同参画に興味や関心を持ってくれる新入生が出ることを願ってチラシを配布しました。

2014/3/27 日本原子力学会

春の年会を取材しました！

3 月 26 日～ 28 日にかけて日本原子力学会 2014 春の年会が開催されました。

その中で、「未来を築く女性原子力人材の育成に向けた取り組み」と題して、昨年 11 月 20 日に中部電力(株)と本学男女共同参画室の合同企画として開催された原子力女性技術者と本学理系女子学生との交流会について、男女共同参画室の岡田往子室長が発表がしました。

発表の中では、学生からの感想や女性技術者から女子学生に向けて熱いメッセージが紹介され、聴講者からは、今後もこうした取り組みを続けていくことが大切であるといった意見がありました。

今後の展開としては、大学、分野を広げて交流を図っていく必要があると考えています。

同日開催された、同学会の男女共同参画委員会、原子力青年ネットワーク (YGN) 連絡会、学生連絡会の合同セッションを取材させて頂きました。原子力人材確保・育成のための具体策の一つとして一ロールモデル集の作成と題したパネルディスカッションが行われ、試作された原子力・放射線業界版のロールモデル集をより魅力あるものとしていくために、企業で働く人、研究者、学生、男女の視点から様々な議論が活発に行われていました。